

あしぎんマーケットニュース

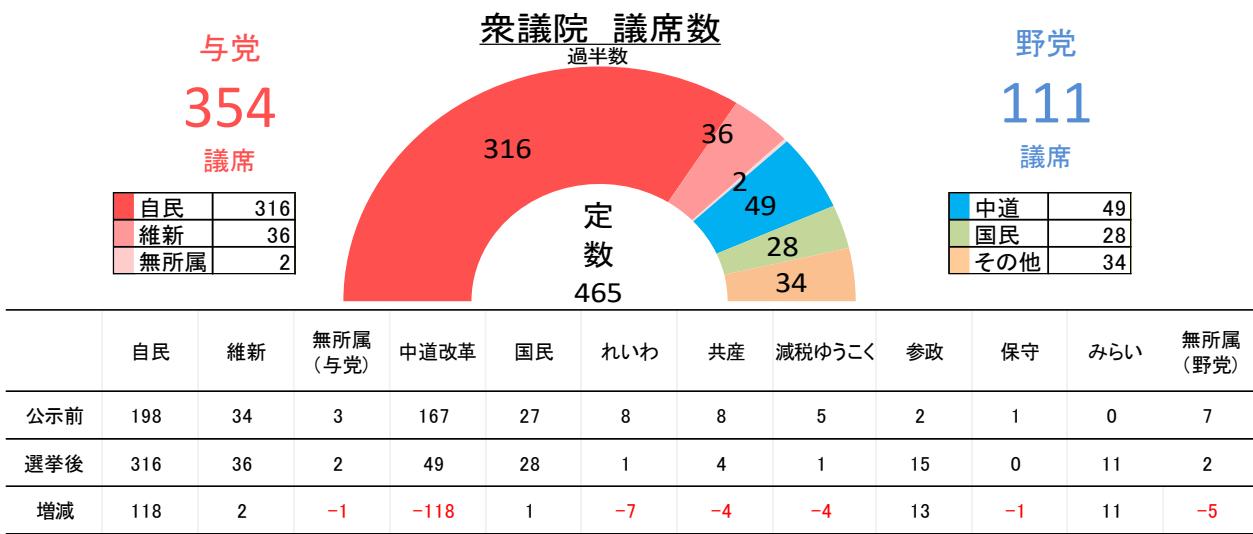
2026年2月9日

衆議院選挙で与党が歴史的大勝、日経平均株価は最高値を更新！

<結果概要>

- 第51回衆議院選挙において、自民党は316議席を獲得し、単独で定数465議席のうち3分の2(310議席)を上回る大勝を収めた。連立を組む日本維新の会は36議席を獲得し、与党の合計議席数は354議席(無所属与党会派2議席含む)となった。
- 一つの政党が単独で定数の3分の2を上回る議席数を獲得するのは初であり、歴史的大勝といえる。参議院では、与党の議席は過半数に満たないものの、衆議院で3分の2以上の議席を占めたことにより、参議院で否決された法案の再可決が可能となることから、与党の政策の自由度が高まるところとなる。
- 立憲民主党と公明党が結成した野党第一党の中道改革連合の獲得議席数は公示前の167議席から49議席へと大幅に減少した。そのほか、国民民主党は公示前の27議席から1議席増とおおむね横ばいとなり、参政党は公示前の2議席から15議席へと増加する結果となった。また、チームみらいは消費税率の維持と社会保険料の引き下げを主張し、初めて議席を獲得、比例で11名が当選した。

<選挙結果>



<相場の反応>

日経平均株価

前週末のハイテク株を中心とした米株高や衆議院選挙の結果を受けた高市政権の経済対策への期待感などから、週明けの東京市場の日経平均株価は大幅に上昇する展開となり、一時前日比3,519.03円高の57,337.07円と過去最高値を更新した。

国内債券

国内債券市場は、選挙結果を受けて消費減税などの積極的な財政政策への警戒感や株高を通じたリスクオンの動きが債券の売り圧力となり、長期金利は2.270%まで上昇したもの、その後は落ち着きを取り戻す展開となった。

ドル／円相場

ドル／円相場は、週明けのオセアニア市場では一時157円76銭まで上昇する場面もみられたが、当局による為替介入実施への警戒感が上値を抑える要因となり、157円を割り込む動きとなった。

<市場動向>

	2月6日 終値	2月9日 10:00時点	前日比
日経平均株価(円)	54,253.68	57,120.82	2,867.14
国内10年国債利回り(%)	2.225	2.270	0.045
国内30年国債利回り(%)	3.560	3.565	0.005
ドル／円相場(円)	157.22	156.88	▲ 0.34

<今後の注目ポイント>

- 今回の選挙結果を受けて、自民党は国会運営の主導権を得る形となった。高市首相の求心力が高まったことで、「責任ある積極財政」が強力に推し進められるとの見方がある一方で、1月20日に国内10年国債利回りが一時2.38%まで急騰したこと、財政の持続可能性への配慮もみせており、現実路線を辿るとの見方もあることから、政権の今後の財政に関するスタンスが注目される。

※本資料は情報提供を目的として作成した参考資料であり、投資勧説を目的としたものではありません。本資料の内容は発行日現在のものであり、将来予告なく変更されることもあります。本資料は信頼できるデータに基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料は証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではなく、将来の市場環境等を保証するものではありません。